



生成AI時代を迎える今

次期教育振興基本計画諮問概要(「こがねい」NO.8 2026/9/3の再掲)には、VUCAに加えこれまで以上に流動性が高まっている状況を背景に、**生成AIの技術革新の急速な発展を中心**に、地域教育、社会産業構造の変容、多様化、ウェルビーイングを検討するとされています。生成AIの技術革新は、本学の皆さんにとっても身近な話題です。

AIによる職種代替の研究は、いくつかの公的データで具体的に試算されています。右図は、野村総合研究所×オックスフォード大学の共同研究(2015年)の世界経済フォーラムのレポートのものです。

野村総合研究所(2026年)は、日本の労働人口の49%がAIやロボットで代替可能という試算を出しました。しかし、代替可能=すぐ失業という意味ではありません。

- スタンフォード・デジタル・エコノミー・ラボ / 2026年8月12日では、「炭鉱のカナリアたち?」の新しい改訂版のハイライト人工知能が最近の雇用に与えた影響に関する6つの事実」によると、
- ① AIによる経済全体での広範な雇用喪失は見られない。
 - ② しかし、AIに曝露された職業に就く若い労働者は、あまり経験のない同僚に遅れをとっている。AIに曝露の高い22歳から25歳の労働者の雇用率は、同年代の同等の免許の少ない職業の雇用と並んでいれば約19%低い水準となっている。経験豊富な労働者は同様の差を示していない。
 - ③ この乖離は2025年8月に初めて記録して以来着実に拡大しており、同じ指標で2025年7月のデータ時点では不足率が15%、2026年6月時点で19%となっている。
 - ④ この調整は、分離の増加よりも、若い労働者の雇用を減らすことで主に進んでいるようだ。
 - ⑤ 減少はAIが人間の作業を自動化する傾向のある職業に集中している。AIが労働者を補完するために使われる職業では、特に経験豊富な労働者の間で雇用は横ばいか増加傾向にある。
 - ⑥ これまでのところ、調整は基本給よりも雇用面で主に現れている。

重要と思われる区別の一つは、成文化知識と暗黙知の区別であるとしています。

若年労働者の雇用は、教育や教科書、書面による教科書などで教えられる正式で標準化された文書化された知識に大きく依存する職業で減少しているのです。対照的に、実践やメンタリング、実際の状況との繰り返しの接触を通じて得た暗黙の知識により依存する職業では、経験豊富な労働者の雇用が増加しています。

経済産業省「DXレポート2.1」では、「AIに置き換わる」のではなく「AIと協働する」働き方へのシフトし、**2040年には「AI共存社会」が確立され、人間の役割は「創造性・共感性・倫理判断」を要する領域に集中する**と言われています。

第5期教育振興基本計画(令和10年度～令和14年度)諮問の概要

我が国を取り巻く社会の状況

- 生成AI等の技術革新の急速な進展 ●予測を上回る人口減少・少子高齢化の進行 ●社会・産業構造の変容 ●我が国社会の多様化 ●国際情勢の不安定化
- VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)に加え、BANI(脆さ・不安・非線形・不可解)の時代とも指摘されるように、これまで以上に、**流動性が高まっている状況** これからの我が国を担う子供たちは、**激しい変化が止まることのない時代を生きていくことになる**

AI時代を迎える中で、2040年以降の社会を捉え直し、教育政策を総合的に検討

5期計画に求められること・検討すべき観点

- ① **生成AI等の技術革新の急速な進展**
・AI等を適切に活用するリテラシー、自ら問いを立てて学びを深める力を育むとともに、**好奇心や意欲・志、粘り強さなど人が人としての価値を発揮するための基盤となる人間力の育成**
・AI等の活用による教育の質の向上、「デジタル」リテラシーを最適に組み合わせる観点も重要
- ② **人口減少・少子高齢化の進行**
・過疎化が進み地域コミュニティの維持が困難、地域における教育機会の確保といった課題が顕在化する中で、持続的な地域コミュニティの形成に資するよう、**地域における教育の維持・活性化、教育へのアクセス確保が重要**
- ③ **社会・産業構造の変容**
(理工・デジタル分野の人材やエッセンシャルワーカーの不足など)
・**探究・文理横断・実践的な学び、留学などの越境体験の更なる推進**
・人材育成システム改革ビジョンを踏まえた、**高校から大学・大学院等まで一貫した人材育成方策の具体化**
・**生涯にわたり学び続ける社会を実現する観点での、リ・スキリング等の社会人の学び直し**
- ④ **我が国社会や教育現場の多様化**
(不登校児童生徒・特別な支援を要する児童生徒・在留外国人の増加など)
・誰一人取り残されず、**一人一人の可能性が開花する教育の実現**
・**教職の魅力を上押し質の高い教職員を確保し続けるなどの環境整備**
・他者との対話を通じた合意形成や、失敗や対立・シレンマ等を乗り越える経験を通じて**民主的かつ公正な社会を築くための教育の在り方**も重要
- ⑤ **ウェルビーイングの重要性の高まり**
(個人の幸福や地域・社会全体の豊かさを重視するSDGsといった新たな概念)
・国際的な動向や蓄積された専門的知見も踏まえ、教育を通じて、**調和と協調を重視する「日本社会に根差したウェルビーイング」を基本とし、その更なる向上を図る**

AIに奪われやすい仕事/奪われにくい仕事
※特定職業/職種/労働者/労働者/労働者

奪われにくい(高)	対人ルーチン 対人スキルが守る
創造×対人	看護士・介護福祉士 営業・保育士 キャリアアドバイザー 接客・販売
創造×対人	対人ルーチン 対人スキルが守る
創造×対人	看護士・介護福祉士 営業・保育士 キャリアアドバイザー 接客・販売
創造×対人	看護士・介護福祉士 営業・保育士 キャリアアドバイザー 接客・販売
創造×対人	看護士・介護福祉士 営業・保育士 キャリアアドバイザー 接客・販売

生成AI時代を迎える今 教員に求められる力



人間の役割を「創造性・共感力・倫理判断」⇒「AIに奪われない仕事の5つの共通点」

- ① 対人スキルが核心の仕事
- ② 創造性・発想が必要な仕事
- ③ 身体性・現場対応が必要な仕事
- ④ 責任判断・倫理判断が必要な仕事
- ⑤ 状況対応・柔軟性が必要な仕事

教職は、
いずれの点においても、
該当する仕事です。

【技術革新と教師の専門性】

生成AIの活用により、ルーティーン・反復性の高いタスクは減少すると言われています。文章作成、情報整理、教材研究、授業準備、校務の効率化などに活用できます。

一方上記の役割のように、生徒一人ひとりを理解して育てていくために必要なコミュニケーション能力や場面指導・進路指導・生活指導等の現場での柔軟な対応、倫理的判断は、教員一人一人がスキルとして持つだけでなく、職場全体のスキルの向上が必要となってくるのは自明です。

では、教員の主たる授業でのスキルについて考えましょう。

教員が発揮すべき能力としてコーチング・ファシリテーション・ティーチングが求められています。

次期教育基本計画では、生徒自身に自己調整能力を身に付けさせ、探究力と協働力を備えた自立した学習者を育成することが求められています。

そのために欠かせないスキルが、ファシリテーションです。この力とは、

- ① 問いを設計する力・・・「なぜ」を作る力、「わからない」を知る力
- ② 対話を進行する力・・・決して正解を教えるのではなく、対話の中で示唆する力
- ③ 必要な知識を適切な時点で教える力・・・行き詰まった時に、新たな方向性や戻る場所を示す力
教員や外部の専門家と協働する力
- ④ 改善につながるフィードバックを行う力・・・失敗しても次に継続するために改善する遅しさ
- ⑤ 支援の程度を調整する力・思考の過程を評価する力・・・教師自らもフィードバックを共有し蓄積する

ここで、生成AIを活用するための教員の課題は何でしょう。

- ① どのような質問をさせるか。
- ② 偏った視点で使っていないか。
- ③ 根拠や出典を明確にさせ、比較しているか。
- ④ 最終判断は生徒自ら行っているか。

生成AI時代を迎える今 教職を目指す理系のみなさんに求められる力

理系を修得している皆さんにとって、日々の学習や研究で、探究力・協働力・調整力は必要不可欠な力です。これらを身に付けている皆さんにとって、教職は力を発揮できる素地のある場所なのです。

では、その力をどのように発揮したらいいのでしょうか。

持っているのと、発揮するのは異なります。今までの授業の経験を生かして、次は自分の言葉で、自分の行動で伝えていくために、次のことを考えてまとめてみましょう。

11月の課題

- ① 【獲得できたと思える体験（試行錯誤や協働力）この力を獲得してきた経過】を言葉にしてみましょう。
- ② 【見通しをもって学ぶ】体系的に学ぶためには計画性が必要です。ファシリテートするためには、教師が目標を明確に持ち、学習習得段階を明示する必要があります。科目としての単元の配置、単元内の並びの意味を考えてみましょう。
- ③ 【興味・関心を刺激し、好きを育み得意を伸ばす】これが一番大変かもしれませんが。皆さんは、自然と興味を持ち、好きを追求追究してきているので、「得意」を伸ばすことは実践知として持ち、創造力も発揮しやすいでしょう。しかし、多くの生徒は、自分が何に興味があるのかがわからなかったり、何がわかるようになるのか自信が持てなかったりしているのです。「わからない」を知る楽しさは是非魅せて欲しいのです。まずは「好き」を作りたいのです。どう仕掛けますか。